

# 令和2年度決算の報告について

令和2年度は前年に続き1.6億円の経常赤字となりました。保険給付費がコロナ禍による受診控えなどにより予算を大きく下回ったため、実質赤字は4,660万円に圧縮できました。

健康保険の決算総額  
**42億5,806万円**  
(1万円未満四捨五入)

- その他の収入 1億7,672万円 (4.2%) (1人当たり1万7,323円)
- 繰越・繰入金 5億円 (11.7%) (1人当たり4万9,015円)  
健保組合の保有財産を取り崩して捻出しました

収入の部  
総額  
42億5,806万円  
1人当たり  
41万7,415円

- 健康保険収入 35億8,134万円 (84.1%)  
(1人当たり35万1,077円)  
みなさまや事業主からいただいた大切な保険料です

経常収支 **35億9,054万円** (収入) - **37億5,388万円** (支出) = **▲1億6,334万円**

経常収支とは、総収入から繰越金や繰入金等を除き、総支出からその他の支出等を除いた額の差引金額となります。  
また、総収入と総支出の差引額は4億5,340万円ですが、保有財産から5億円を補填しているため差額の4,660万円が実質赤字額となります。

- 保健事業費 9,905万円 (2.6%) (1人当たり9,710円)  
人間ドックやがん検診、インフルエンザ接種の補助等みなさまの健康づくりを応援するための費用として支出しました

保険給付費と納付金で  
支出計の93.8%を占めます

支出の部  
総額  
38億466万円  
1人当たり  
37万2,969円

- 保険給付費 19億3,505万円 (50.9%)  
(1人当たり18万9,693円)  
みなさまが病気やけがをしたときの医療費や各種給付金として支払いました。令和3年度も医療費削減にご協力ください
- 納付金 16億3,402万円 (42.9%)  
(1人当たり16万183円)  
高齢者医療制度への納付金として国へ納めました。重い負担となっています

- 事務費 8,291万円 (2.2%) (1人当たり8,128円)
- その他の支出 5,362万円 (1.4%) (1人当たり5,257円)

介護保険の決算総額  
**4億7,750万円**  
(1万円未満四捨五入)

- 雑収入 1千円  
(1人当たり0円)

収入の部  
総額  
4億7,750万円  
1人当たり  
7万6,930円

- 介護保険料収入 4億7,750万円  
(1人当たり7万6,930円)  
40歳以上の被保険者のみなさまと事業主からお預かりした保険料です

収支 **4億7,750万円** (収入) - **4億5,132万円** (支出) = **2,618万円** (繰越)

支出の部  
総額  
4億5,132万円  
1人当たり  
7万2,712円

- 介護納付金 4億5,132万円  
(1人当たり7万2,712円)  
介護給付・予防給付を支えるために国に納めています

## 決算のポイント

### 健康保険

収入は予算から  
0.7億円の減収となりました

- 被保険者の減少により、予算から健康保険料収入が▲1.3億円でしたが、国庫補助金収入が+0.6億円ありました。

保険給付費が予算上  
3.6億円も減りました

- 保険給付費は、予算額22.9億円に対し19.4億円でした。コロナ禍による受診控えと推測されます。それにより、被保険者1人当たり給付額も前年度より約1万円減となりました。

収支差引残のうち4.5億円  
を3年度へ繰り越します

- 収支差引残額のうち、4.5億円は3年度予算へ繰り越し、339万円は別途積立金へ繰り入れしました。

納付金が健保財政の  
重い負担となっています

- 支出に占める割合の42.9%が納付金で、高齢者医療制度により国へ納めており、財政悪化の一因です。

### 介護保険

- 介護保険収入は前年度より4,600万円減額しましたが、介護納付金が前年度より7,300万円の減額となったことで、収支差引額は2,600万円の黒字となり、介護給付金へ繰り入れしました。

## 決算の基礎数値

### 健康保険

- 被保険者数…………… 10,201人
- 平均標準報酬月額…………… 284,372円
- 総標準賞与額(年間合計) …… 4,821,308千円
- 平均年齢…………… 44.09歳
- 保険料率…………… 93.00/1000
  - 事業主…………… 47.00/1000
  - 被保険者…………… 46.00/1000

### 介護保険

- 保険料徴収者数…………… 6,207人
- 平均標準報酬月額…………… 319,985円
- 総標準賞与額(年間合計) …… 3,556,824千円
- 介護保険料率…………… 17.50/1000
  - 事業主…………… 8.75/1000
  - 被保険者…………… 8.75/1000

## 医療費の適正化には、みなさまのご協力が必要です

みなさまが、予防・健康づくり、セルフケアを深化させて「受病」抑制することが、医療費の抑制につながります。

- 健康診断、人間ドック、がん検診を受診して健康状態を把握しましょう
- 健診結果は放置せず、早期受診や生活習慣病改善により重症化を予防しましょう
- ジェネリック医薬品を使用したり、はしご受診を控えることも医療費の削減につながります